

完成車輸送を強化

トレーラー増で新車に対応

自動車部品輸送などを手掛ける三洋陸送（本社津市大里睦合町西垣内2841、中田純一社長、電話059・230・7151）は、完成車を輸送するキャリアカー事業を強化する。約1億3千万円を投じ、自動車を運搬するトレーラーを中心に新車への切り替えや増車を実施した。中古車への需要増大に対応するほか、今年8月ごろから新車輸送を開始。9月からは関西方面（神戸まで）にも営業エリアを広げた。キャリアカー事業の一段の成長を目指す。

（三重・榎田宏行）

キャリアカー事業は、主に中古車ディーラーやオークション会場などと取引しており、三重・愛知・岐阜の東海3県エリアに輸送している。

中古車市場は、自動車メーカーの認証不正問題に伴い新車流通の滞りを受けて



中田一輝専務

活性化しており、持続的な成長が見込めると判断した。

完成車両を1〜6台積載できる車両を計5台増車した。また、一部の車両を新車へ更新した。現在、キャリアカー事業で使用する車両は11台保有している。

現在は中古車輸送が主力だが、新車輸送を8月ごろに

開始した。中田一輝専務は「キャリアカー事業の荷役作業は高い技術力が求められる。新車は一段の技術力と経験が要る。ドライバーの質を高めていきたい」と話す。

1964年創業。2023年にトラック運送が主力の中田商事（本社伊賀市）の子会社となっている。従業員数は25人。売上高（26年3月期）は3億円を見込む。



キャリアカー事業を強化する